

通級による指導について紹介します

平成30年度から本校では「通級による指導」を実施しています。「通級による指導」とは、生徒の困り感の改善・克服を目指した、自立や社会参加を図るために必要な能力の育成につなげるための指導です。

こんなことで困っていませんか？

集団での活動
が苦手

板書を書き写すのに
時間がかかる

教科書を読むときに
読み飛ばしが多い

こだわりがあって
柔軟に対応できない

思っていることを
伝えるとトラブル
になることが多い

気が散りやすく
集中できない

話しかけたいけど
何て話しかけたら
いいのか分からない

忘れ物が多く
提出期限が
守れない

自分なんて駄目だ…
と思い込んでしまう

通級による指導では、ほとんどの生徒が週に1時間、他部の時間帯に出校して指導を受けます。指導はおおむね先生とマンツーマンで行われ、毎時間個人の課題に合わせた目標を立て授業をし、評価を行います。そして前期と後期の修了時に総合的な評価を行い、成績会議で協議されます。その結果を受けて最終的に校長が単位を認定します。

通級による指導を担当する先生たちは、生徒たちの課題と一緒に向き合っていくので、生徒との信頼関係を作ることを何よりも大切にしています。

本校では今年度も午前部、午後部、夜間部の入学年次から卒業年次までの希望する生徒が、「先生や友達への話し方」や「気持ちのコントロール」「物の管理や忘れ物への対策」「自分の特性に合わせた進路選択」などを目標として指導を受けました。

もし上記のようなことで困っていたら、ぜひ教育支援部の先生方に相談してみませんか。どうすれば困りごとが解消されるか、一緒に考えていきませんか。